



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトマックス株式会社

コード番号 3671

URL <https://www.s-max.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松島 努

問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部担当部長（氏名） 中島 正弘（TEL）(099)226-1222

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2023年12月期第3四半期の業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	3,223	6.5	237	26.8	272	22.9	180	26.3
2022年12月期第3四半期	3,025	0.6	187	△44.1	221	△38.9	143	△40.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年12月期第3四半期	30.18		-					
2022年12月期第3四半期	23.97		-					

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	6,002	2,947	49.1
2022年12月期	6,549	2,936	44.8

（参考）自己資本 2023年12月期第3四半期 2,947百万円 2022年12月期 2,936百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2023年12月期	-	0.00	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	30.00	30.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 上場10周年記念配当10円00銭

3. 2023年12月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 創立50周年記念配当10円00銭

## 3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	△1.0	550	0.4	592	0.0	391	△6.8	65.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期3Q	5,999,364株	2022年12月期	5,985,900株
2023年12月期3Q	357株	2022年12月期	357株
2023年12月期3Q	5,993,039株	2022年12月期3Q	5,977,484株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりましたが、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページに記載した「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、2023年5月の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの移行に伴い、社会・経済活動が正常化に向け動き出しました。一方で、国際紛争、エネルギー価格、原材料価格の高騰等不安定な海外情勢の長期化による物価高が顕在化しており、依然として不透明な状況が続いております。

当社が事業展開している医療機関におきましても、感染症の影響からの正常化の動きは見えるものの、仕入価格の高騰をはじめとする医業費用の増加などにより経営環境は依然として不確実性が高い状態です。

そのような環境で、2022年版「骨太の方針」で示された医療DX推進のメインテーマである「全国医療情報プラットフォームの創設」、「電子カルテ情報の標準化等」、「診療報酬改定DX」等の実現に向けた工程表が「医療DX推進本部」から公表され、医療機関や薬局におけるマイナンバーカードの保険証利用の促進や、電子処方箋の本格的な運用開始等により、医療情報システムの新規導入、更新のニーズが益々高まっています。

加えて、電子カルテシステム等のソリューションやクラウド技術、AIなどのテクノロジーは、社会的課題である社会保障費の抑制や医療サービスの地域格差解消、医師を始めとした医療従事者の働き方改革の支援等においても一層重要性が増しています。

このような状況の下、当社は新規顧客へのオンプレミス、パブリッククラウド、グループ病院へのプライベートクラウド(※)の需要と既存顧客のリプレイス需要の取り込みに注力し、医療DX関連のシステムの開発、販売、導入及び保守を継続してまいりました。また、開発・技術部門においては、顧客のニーズに沿ったシステム機能の充実と信頼性の向上という方針を継続し、システムの機能強化とバージョンアップを促進するとともに、先進的なテクノロジーの研究、顧客医療機関に対するサポート体制の強化、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

(※) オンプレミス：医療機関内のサーバー機器を利用してアプリケーションを使用すること

パブリッククラウド：外部のデータセンターを利用してアプリケーションを使用すること

プライベートクラウド：同一医療法人内ワンサーバーでのクラウド環境でアプリケーションを使用すること

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,223,074千円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益237,697千円（前年同四半期比26.8%増）、経常利益272,535千円（前年同四半期比22.9%増）、四半期純利益180,884千円（前年同四半期比26.3%増）となり、コロナ禍明け後の医療機関の新規システム導入、システム更新等のニーズ拡大を背景に、前年同四半期比で増収増益となりました。なお、売上高は、第3四半期累計期間ベースでは3期連続の増収となり、過去最高となりました。

なお、セグメント別の業績につきましては、システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりますが、受注実績及び販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

①受注実績

種類別	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
システムソフトウェア	1,839,275	95.4	1,500,809	87.2
ハードウェア	739,959	72.4	525,326	58.3
合計	2,579,234	87.4	2,026,135	77.3

②販売実績

種類別	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	前年同四半期比 (%)
	販売高 (千円)	
システムソフトウェア	1,407,603	102.5
ハードウェア	691,882	112.2
保守サービス等	1,123,589	108.6
合計	3,223,074	106.5

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ、流動資産が586,081千円減少し、固定資産が39,153千円増加した結果、546,928千円減少し、6,002,577千円となりました。流動資産の減少は、主に現金及び預金が260,314千円、仕掛品が153,248千円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,019,804千円減少したこと等によるものです。また、固定資産の増加は、主に投資その他の資産が35,820千円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ、流動負債が562,223千円減少し、固定負債が3,636千円増加した結果、558,587千円減少し、3,054,793千円となりました。流動負債の減少は、主に支払手形及び買掛金が520,682千円減少したこと等によるものです。また、固定負債の増加は、主に長期借入金が13,140千円減少した一方で、退職給付引当金が16,800千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ、11,658千円増加し、2,947,783千円となりました。その主な要因は、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により資本金が5,170千円、資本剰余金が5,170千円それぞれ増加したことに加え、四半期純利益180,884千円の計上、配当による利益剰余金の減少179,566千円によるものです。なお、自己資本比率は49.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、現時点において2023年2月13日に公表しました業績予想から据え置いております。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等は今後の業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,851,233	3,111,548
受取手形及び売掛金	1,580,847	561,043
商品	82	293
仕掛品	220,868	374,117
貯蔵品	556	521
その他	71,585	91,570
流動資産合計	4,725,175	4,139,093
固定資産		
有形固定資産		
土地	770,309	770,309
その他(純額)	294,093	289,726
有形固定資産合計	1,064,402	1,060,035
無形固定資産		
投資その他の資産	35,239	42,938
投資不動産(純額)	569,687	564,064
その他	155,000	196,444
投資その他の資産合計	724,688	760,509
固定資産合計	1,824,330	1,863,483
資産合計	6,549,505	6,002,577
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,392,434	871,752
短期借入金	1,150,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	17,520	17,520
未払法人税等	86,212	46,033
賞与引当金	-	81,000
その他	318,888	236,525
流動負債合計	2,965,055	2,402,831
固定負債		
長期借入金	179,580	166,440
退職給付引当金	289,252	306,053
役員退職慰労引当金	145,270	148,524
その他	34,222	30,943
固定負債合計	648,325	651,961
負債合計	3,613,380	3,054,793
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	437,080	442,250
資本剰余金	298,230	303,400
利益剰余金	2,201,107	2,202,426
自己株式	△293	△293
株主資本合計	2,936,124	2,947,783
純資産合計	2,936,124	2,947,783
負債純資産合計	6,549,505	6,002,577

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,025,074	3,223,074
売上原価	2,172,925	2,265,541
売上総利益	852,149	957,533
販売費及び一般管理費	664,718	719,836
営業利益	187,430	237,697
営業外収益		
受取利息及び配当金	36	39
受取賃貸料	59,512	60,186
その他	1,001	694
営業外収益合計	60,550	60,919
営業外費用		
支払利息	3,539	3,433
賃貸費用	22,702	22,647
その他	59	0
営業外費用合計	26,301	26,080
経常利益	221,679	272,535
税引前四半期純利益	221,679	272,535
法人税、住民税及び事業税	99,483	131,035
法人税等調整額	△21,065	△39,384
法人税等合計	78,418	91,650
四半期純利益	143,261	180,884



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第3四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)及び当第3四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当社の事業は、システム事業の単一セグメントですので、記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。